

春の「本づくり基礎講座」で大好評の校正講座を、さらにグレードアップした編集者・校正者のための「校正講座の実践編」です。

豊かな経験を元に、初心者が「実務でおさえるべきツボ」などを実例を挙げながらやさしく解説、「校正の基本と極意」を惜しみなくお伝えいたします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

■ 大西講師のご挨拶

この講座では、デジタル化という出版をめぐるこの劇的な変化の時代に、私たちはどんなふうに言葉とつきあえばいいのかを、「校正の現場」という視点から学びます。校正の現場とは、言葉を発信する人とそれを受けとる人とのあいだに立ち、言葉そのものに寄り添いながら、「相手の言葉にどう耳を傾けるか」「じぶんはいったい、何を伝えるのか」という、対話をうながし深める、実体験の場です。

対話は知識だけでは成り立ちません。「校正のこころ」を手がかりに、実技を学ぶだけでなく、生きた言葉と向き合うための「校正の感覚」を、みなさんにお伝えしたいとおもいます。

● 参加要項 ●

- ◆ 講師 大西 寿男氏 (ぼっと舎/校正者)
- ◆ 日時 平成24年10月3日(水) 13:30~18:00
- ◆ 会場 日本出版クラブ会館 (3階・会議室)  
(東京都新宿区袋町6 都営大江戸線 牛込神楽坂駅より徒歩2分)
- ◆ 受講料 出版クラブ維持員社 8,000 円 (一般参加者 10,000 円)  
(教材費・テキスト代を含む)
- ◆ 定員 80 名 (申込順、定員になり次第締切らせていただきます)
- ◆ 申込 別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAX または郵送にてお申込み下さい FAX 03-3267-6095
- ◆ 振込先 三菱東京UFJ銀行 神楽坂支店 普 0062459  
口座名: <ザイ> ニホンシュッパンクラブ  
当日会場での直接お支払いは受付ておりません。
- ◆ お問い合わせ 日本出版クラブ事務局 担当/杉山・和田  
TEL 03-3260-5271

2012 年秋講座

# 校正の基本と実技

編集者・校正者のための

## 続・本づくり基礎講座

■ 講義内容

(講義内容及び進行は、講義の都合で変わる場合があります)

第1部 ● デジタル時代の校正とは 13:30~14:20

- ・ 本と校正の歴史
- ・ 正すと整える
- ・ 受け身であること
- ・ 質疑応答 (10分休憩)

第2部 ● 校正の基本 14:30~15:20

- ・ 引き合わせと素読み
- ・ 共通語としての校正記号
- ・ 変更と確認と注意の喚起
- ・ 疑問出しと保証
- ・ 質疑応答 (10分休憩)

第3部 ● 校正の実務 (1) 15:30~16:50

- ・ データ入稿
- ・ 表記の統一
- ・ 漢字の字体について
- ・ 組版とルビ
- ・ 差別表現と向き合う
- ・ 質疑応答 (10分休憩)

第3部 ● 校正の実務 (2) 17:00~18:00

- ・ チームワークとコミュニケーション
- ・ 品質保証としての校正
- ・ 著者校正と編集者の校正、校正者の校正
- ・ 質疑応答

\*\*\*\*\*

■ 講師略歴

大西 寿男 (おおにし としお)  
1962年、兵庫県神戸市長田区に生まれ育つ。  
1988年より、東京で校正者として働くかたわら、編集・DTP・手製本など自由な本づくりに取り組む。  
校正の仕事では、岩波書店、集英社、河出書房新社、作品社、藤原書店、三省堂、新潮社などの外部校正者として、文芸書、人文書を中心に、実用書や新書から専門書まで、幅広く手がけてきた。  
その20年余の経験をもとに、2009年に「校正とは何か?」を追究した著書『校正のこころ』が、「これまでになかった包括的な校正の方法論」として反響を呼ぶ。  
1998年、校正と本づくりの個人出版事務所・ぼっと舎を開設。  
<http://www.bot-sha.com/>  
[http://www.twitter.com/bot\\_sha](http://www.twitter.com/bot_sha)

<主な著書>  
『校正のこころ——積極的受け身のすすめ』(創元社)  
『校正のレッスン——活字との対話のために』(出版メディアパル)